

## 次世代無線通信技術に関する新しい取組み体制について

現在、IMT-2000（第3世代移動通信システム）の高度化とその後継システム（第4世代移動通信システム）に関する国際標準化の取組が国際電気通信連合（ITU）等において進展しており、2007年に開催される世界無線通信会議(WRC-07)における当該システムの周波数の審議に向け、活発な議論が行われています。2005年11月のITU-R SG8会合において、IMT-2000の後継システムの名称を「IMT-Advanced」とする決議案が採択されたところです。

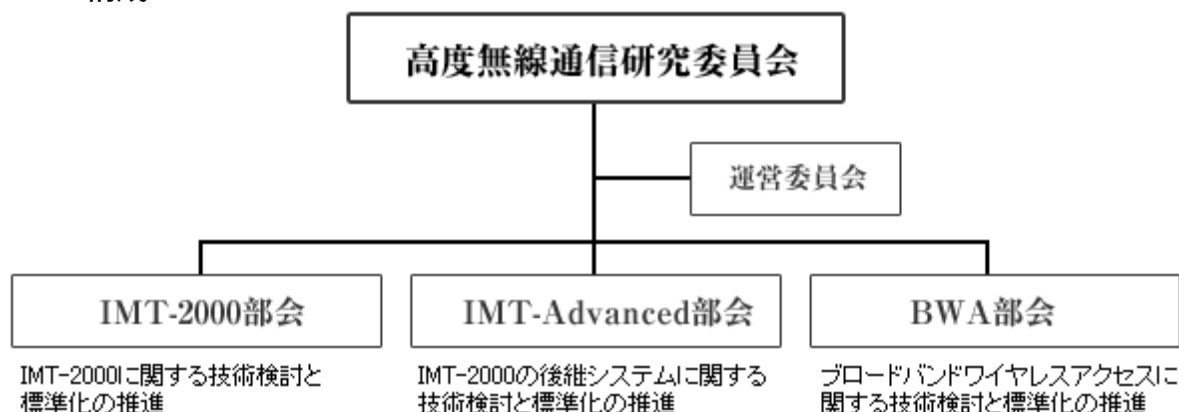
また、国内外において、WiMAX等のブロードバンドワイヤレスアクセス（BWA）システムに対する取組が活発化するとともに、総務省の「ワイヤレスブロードバンド推進研究会」の報告（2005年12月）の中で、「民間標準化団体等において、標準化や実用化に向けた組織的な取組の進展を期待」と提言されております。

このような状況を踏まえ、社団法人電波産業会（ARIB：会長 金杉明信）は、今般、既設の「IMT-2000研究委員会」を全面改組し、IMT-Advanced、BWA等の次世代無線通信技術に関する調査研究、標準化、他の標準化機関との連携等を専門的に扱う組織として、また、当会の会員のみならず、会員以外の企業等も参加可能な組織として、「高度無線通信研究委員会」を設置することといたしました。

平成18年2月23日（木）に開催された当会の第21回通常総会において、本研究委員会の設置が正式に決定されましたので、お知らせいたします。

### <高度無線通信研究委員会の概要>

- 任務 国内外の関係機関と連携を図りつつ、高度な無線通信システムに関する技術的検討を行うとともに、その国際的な標準化活動に寄与する。
- 設置日 平成18年4月1日
- 構成



連絡先 社団法人電波産業会 研究開発本部 白石、田中、谷部  
TEL 03-5510-8594  
FAX 03-3592-1103